

川本裕子委員提出資料

2003年5月20日

内 容

- 道路関係四公団の民営化に向けた準備作業の進捗について
- 民営化準備作業のスケジュール提出要請と委員会での監視作業プラン作りの必要性
- 財務諸表関連の資料の提出状況
 - － 添付資料1 4月18日に川本が事務局を通して質問した事項
 - － 添付資料2 日本道路公団への追加質問事項*

* 本委員会に対しては公団からのご回答がないため、道路公団民営化推進シャドウコミッティの「財務諸表作成の検討に関する公開質問」(事務局経由入手)を基に作成。意見書のスキームが議論の前提となっているか確認

主な作業を担当する国土交通省、各公団は、実施作業の準備スケジュールを以下のようにまとめ、早急に本委員会に対してご提出願いたい。本委員会は、それに基づいて適切な監視作業を進めてゆくこととしたい

民営化準備作業のスケジュール提出要請と委員会での監視作業プラン作りの必要性

例 示
 ——— 国土交通省*
 各公団
 ▲ 本委員会

作業のスケジュール

| 民営化に向けた準備作業 | 2003年度 | | | | 04年度 | | | | 05 | 委員会審議 |
|---|--|----|-----|----|------|----|-----|----|----|----------------|
| | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | 7月 | 10月 | 1月 | 4月 | |
| <p>の新規組み設</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設計画見直しと優先順位付け コスト削減計画の策定と実施 新たな建設スキームの設定 <ul style="list-style-type: none"> - 新会社と国等の分担 - 予算の確保 | 4/15 ▲▲ 5/20 | | | | | | | | 民 | 第43回** 委員会にて審議 |
| <p>の債務組み返済</p> <ul style="list-style-type: none"> 本州四国連絡橋公団の債務の切り離し 債務返済スキームの確定 分割に伴う各新会社の債務額・貸付料確定 金融・税制措置の確定 債務返済状況の監視のスキームの確定 | | | | | | | | | | |
| <p>新組織の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 新会社と機構の組織概要の決定: <ul style="list-style-type: none"> - 設立手続き - 事業内容 - 資産 - 組織概要(機構は解散規定を含む) - ディスクローチャーの仕組み 新会社の地域分割の設定 国による監督規制の内容の確定 | | | | | | | | | 営 | 第45回** 委員会にて審議 |
| <p>準備組織からの移行</p> <ul style="list-style-type: none"> 民営化後の通行料金の策定 ファミリー企業の改革 民間企業経験者の登用 コスト削減計画の策定と実施 入札資格要件の撤廃 パーキングエリア等における建物等の移管 企業会計原則に基づく財務状況の把握 改革の推進体制の設置 | 4/15 ▲▲ 5/20 4/15 ▲▲ 5/20 | | | | | | | | | |

* 法案の改正を必要とするものについては、別途改正予定の法案のリストと提出予定を本委員会にご報告いただきたい

** 第何回の委員会において審議するかについては暫定的。今後国土交通省と各公団の作業日程に合わせて検討

財務諸表作成に関して各委員から質問があったが、公団からは「財務諸表公表後に回答する」という返事が寄せられたようである。前回委員会から1ヶ月以上の期間があったにもかかわらず未回答の理由を教えてください。また、財務諸表作成の方針に関わる問いであるため、作成が終わってからではなく、現段階でご回答をいただきたい

財務諸表関連の資料の提出状況

| 各委員からの質問事項 | 質問者 | 日本道路公団からの回答 |
|--|---------|--------------|
| 資産の分類状況について(4月15日委員会後) | 松田委員 | 財務諸表公表「後」に提出 |
| 財務諸表検討委員会での議論について(4月15日委員会後)* | 川本 | |
| 再調達価格の採用について 減損会計を採用しないことについて 建中金利の資産額への算入について 資産の買取と評価方法の関連について 補償費の資産額への算入について | | |
| JH財務諸表の作成に関連する質問事項(長泉付替え道路)(5月15日追加分) | 田中委員長代理 | |
| 建中金利のフロー額(単年度)について(5月15日追加分) | 猪瀬委員 | |
| 建中金利の費用化ルールについて(5月15日追加分) | 猪瀬委員 | |

* 質問の内容は添付資料1を参照

4月15日委員会を踏まえた追加要求事項（4月18日に事務局を通して質問した事項）

以下について、日本道路公団と、四公団の整合性については国土交通省、また該当する場合には財務諸表検討委員会の委員の方々のご意見をお伺いしたいと思います。

民間準拠財務諸表の作成上のルールについて

¶ 再調達原価の採用について

- 財務諸表検討委員会での議論では、再調達原価の採用について異論も出されているようだが、これらの意見に対してはどのように回答するか
 - （参考）第1回議事録p28 「取得原価を使うものもあるわけですね。当然、そこと整合性が取れないといろいろ問題ではないか」
 - （参考）第1回議事録p29 「データがあるものについては取得原価だといい、ないものは再調達原価だというと、原則は取得原価になってしまう」
 - （参考）第1回議事録p31 「民営化推進委員会で要求された民間企業並みというのは、そもそも民間企業ではないのですが、継続事業としてやっているような民間企業を念頭に置いて言っているのか、それともこれから新規スタートする民間企業でいいのか、そのどちらなのかというのが、気がかりです。フレッシュスタートで大丈夫ですかね。」

- (参考) 第1回議事録p39 「最近できたものは取得原価で、古いものは再調達原価ということは、評価した結果、土地などの買収価格を念頭において考えると、資産が膨れるような会計処理ではないかと思った訳ですね。」
- (参考) 第2回議事録p8 「フレッシュ・スタートがいいのかどうかは、新しくできることになる企業の資本の回収について、ということが想定されているのかがわからずには決められないのではないのでしょうか」
- (参考) 第2回議事録p9 「減価償却をやるという話になりますと、初期投資を将来キャッシュフローで回収していく回収計算になってしまいます。そうすると、今持っている資産について、すでにどれだけ回収されていて、今後どれだけ回収しなければいけないのかという線引きをしないと評価額が決められない。」
- (参考) 第2回議事録p10 「新しい組織ができたときに持っている資産の時価を、その後の料金にチャージするということについてのコンセンサスが得られているのかどうか、それはここで決められない問題ではないか」
- (参考) 第3回議事録p18・19 「道路以外の償却資産は、何故、簿価になったりするのか。～ あるものはAの評価方法で、違うものはBの評価方法ということは、できないのではないか」
- 異論があったにもかかわらず決定した理由・経緯は何か
- 最近建設された資産については「取得原価=再調達原価」と考えて取得原価を採用する旨が述べられているが、取得原価を採用する資産は平成14年度以降開通分のみか
 - (参考) 第3回議事録p17 「書類のあるものは全て取得価額を使うという訳ではなくて、あくまでも平成14年度に明確になった金額を基準に評価する形になる訳ですか。～ (回答)積み上げは、平成14年度ぐらいで割り切れるのではないか」
- 土地の評価について、どのような場合に取得価額を用い、どのような場合に鑑定評価による価額を用いるのか。また、その理由は何か。他の資産の評価方法との整合性はとれているか
 - (参考) 第3回議事録p16 「平成14年度に開通した道路～ 土地はすごい昔に買ったものはないですか～ それも古い価額のままでいいのですか」

- 再調達原価の評価に当たっては、最近の施行実績から単金を割り出し、過去の資産に対してその単金を適用すると説明されているが、最近の実績とは、平成14年度以降開通分の実績のことか。実績の調査のサンプリングは十分であるか
 - (参考) 第3回議事録p14 「標準創設単金については、最近に行われた工事で同種のものでいくらかかったかということ現在調査しております」
- ほかの3公団は取得原価方式を採用すると表明しているが、これらとの整合性はどのようにとる予定であるか
- 統合・分割の際は方式の一体化が必要だが、日本道路公団のみ再調達原価を採用する場合、統合・分割の際に改めて方式を変えるのか

㊦ 減損会計を採用しないことについて

- 検討委員会での議論では、減損会計の適用を念頭に入れる必要があるという発言がなされているが、具体的にはどのような方針であるか
- 減損会計の適用によって、再調達原価で評価した資産価額が大きく減少するのではないかと懸念が表明されているが、これに対しどのような対応を考えているか
 - (参考) 第1回議事録p38 「減損会計を睨むと、路線によっては、使用価値、すなわち将来キャッシュフローの見込みがないものは、2、3年後に減損会計を適用するときに、どっと下げることだってあり得る訳ですよ。」
 - (参考) 第1回議事録p39 「古いものは再調達原価でやり、最近のものは取得原価でやるというのは、土地の買収費を見ると含み損がありそうなのですね。それが、減損会計と結びついたときに、どうなるかが心配です」
 - (参考) 第2回議事録p17 「減損会計を適用すると、収益性の低いものは一気に簿価が落ちることになってしまう。つまり、発足と同時に減損会計を適用することを頭の中に入れておかないといけない」

- 減損会計を適用する対象のくくり方については、さまざまなご意見があるようだが、どのように考えているか
 - (参考) 第1回議事録p38 「減損の場合はその減損をするくくりをしなくてはいけない ~ 道路全部を一括してということは絶対にありえないと思う。多分、路線別はあるだろうし、もしかしたら区間ですね」
 - (参考) 第2回議事録p18 「たとえば、土工であれば管理事務所ごととか、のり面であればインターチェンジ間ごととか」
 - (参考) 第2回議事録p18 「建築事務所において、発注単位があるはずで、契約ベースですね ~ 少なくとも、工事事務所単位とか管理事務所単位というのは大雑把すぎる」
- 平成18年から民間は採用予定であるが、その際どのような対処をするのか

㊦ 建中金利の資産額への算入について

- 検討委員会での議論では、金利の資産額算入についていくつもの問題点が指摘されているが、以下の各指摘に対して、それぞれどのように考えているか
 - 第2回議事録p38 「そういうことをやると、話があまりに複雑になってくると思います。 ~ 金利は発生した期間の費用として落とせばいいので、取得原価に算入する必要はないと思いますし、算入すべきではない」
 - 第2回議事録p39 「タックスのことを考えると、金利のようなものは期間費用として落としていきたいと思います。今のご説明をうかがっていると、無理に資産計上しよう、資産を膨らませようとしているように感じました」
 - 第2回議事録p41 「資産化できる金利は、ひも付きでなければいけないということはあるのですか。 ~ (回答)要件にそう書いてあります。 ~ ひも付きという意味は、ある道路を作るときに、そのためにいわばプロジェクトファイナンス的に借り入れた分の金利がいくらなのかわかるということですか。 ~」 第5回議事録p8 「この道路債が特定の道路のために記載されているということは、結びついてわかっているのですね」

- 第5回議事録p6 「土地の場合には、利息はいっぺんに償却して、償却資産のほうは償却資産にオンしておいてから、将来の収益にチャージさせていくということで、首尾一貫するかどうか」
 - 第5回議事録p9 「料金決定の問題が、この財務諸表をベースに行われることになったときに、利息の問題はシビアに、世代間のジェネレーションアカウンティングといいますが、世代間の負担関係というのを規定することになってしまいますね。
～ 将来の受益者が負担するというので、世代間の所得の分配みたいなものを、実は暗黙のうちに行っている可能性がある」
 - 異論があったにもかかわらず、算入を決定した理由・経緯は何か
 - 第2回と第5回とで論議の方向が大きく変化した理由・経緯は何か
 - (参考) 第5回議事録p5 「金利を払わないと道路も取得できなかったし、償却資産も取得できなかったということになるわけですね」
 - (参考) 第5回議事録p10 「純粋に民間企業を前提として考えた場合の金利については、これで妥当」
 - 再調達原価を採用し、建中金利を資産化する場合の金利の計算方法として、一律10年間という建設期間をどの資産についても想定すること、また過去の資産についても最近の平均金利を適用することが妥当と考えられるのか
- ¶ 資産の買取りと評価方法との関連について
- 資産の買取りに関する議論があったようだが、どういう点が問題とされ、それはどう整理されたのか
 - (参考) 第3回議事録p30 「10年後に買い取るときに、いま、企業結合会計が進んでいますが、パーチェス法でやると、そこでまた、いろいろな問題が出てきます。そして、そのことによって、再調達原価でやるのか取得原価でやるのかということも決まってくるし、その辺のことが一番重要なのだと思います」

- (参考) 第3回議事録p31 「パーチェス法で行けば、そのときに新たに再評価することになります」
- 第3回の議論の後、JH側に、前提となる制度設計とその財務諸表についてイメージ図を作るようにという指示があったが、これについてはどのような制度設計を前提として作業を進めたか、または進めているか
 - (参考) 第4回議事録p33 「(JH)すでに民営化している事例についていろいろと調査いたしました ~ 南フランス高速道路株式会社 ~ 償還制度、つまり、借金を払い終わってコンセッション期間が終われば、国に資産を返すという制度の下でも民間企業として、私どもと類似しております」

¶ 補償費の資産額への算入について

- 補償費は資産額に参入することで議論が進んでいるようであるが、その際の補償費の額については、どのように考えているか
 - (参考) 第2回議事録p23 「補償費用を再調達原価に加算するとしても、通常必要とされる立ち退き等にかかるコストを、通常生じるであろうと思われる金額で加算するのでしょうか。それとも、交渉ごとですから、例えば、通常かかるものの2倍で買収したという過去の事実があった場合は、それを加算するのでしょうか」
 - (参考) 第2回議事録p27 「補償費用は、全部が全部、本当に原価算入すべきかどうか、検討の余地はあると思います。」
 - (参考) 第2回議事録p31 「物件移転補償費は、道路公団が買主だから金額が上がるということはあるのでしょうか」
- 補償費がどの資産にかかるものであるかという点について、議論があったようであるが、この問題はどのように整理されているか。また、その理由は何か
 - (参考) 第2回議事録p26 「土地に対する補償費用なのか、構築物に対する補償費用なのかは、きちんと分けておかないと、説明がつかないと思います。減価償却か非償却かということにするわけですから」

日本道路公団への追加質問事項

以下の質問事項について、日本道路公団、また該当する場合には日本道路公団財務諸表検討委員会の委員の方々のご意見をお伺いしたく思います。現時点では、財務諸表検討委員会の委員の先生方のご意見が直接わかる資料は、道路公団民営化推進シャドーコミッティーからの「財務諸表作成の検討に関する公開質問」に対する回答のみであるようなので、このご回答を踏まえて質問させていただきたいと思います。また、どのような会計手法を採用されるかは日本道路公団の経営判断事項であると考えますので、各質問に対する公団のご判断(またはその理由)をも、合わせてお聞かせいただきたく思います。特に、意見書のスキームを議論の前提として下さったのかどうかを、お尋ね申し上げたいと存じます。

民間準拠財務諸表の作成上のルールについて

¶ 再調達原価の採用について

- フレッシュ・スタートとの仮定を置くにあたり、どのような財務諸表を作ればよいか前提が明白でなかったとのご意見が見られるが、本委員会の意見書で提示した民営化のスキームを前提とされた上でのものか
- フレッシュ・スタートとの仮定は、移行の際にどのような会計処理をすることを前提とされたものか
- 統合分割を踏まえた時、他公団が取得原価での評価を行っていることと、日本道路公団が再調達原価での評価を行うこととの間に整合性はあるか
- 一部の資産については取得原価を採用する場合、再調達原価を採用する部分との整合性は取れるか

- データがない中でも、昨年民営化委員会に提出のあった固定資産税の課税対象額把握に必要なデータ(当該データは、現存する道路の歴史的原価を推計したものと見受けられる)はあったようであるが、このデータを用いて工夫することよりも再調達価額を採用することが、より適切な方法だとのこと判断か

㊦ 補償費の資産額への算入について

- 「道路用地の取得にとって不可欠である限り」補償費の内容に関わらず資産額に算入することだが、その額の多寡については問わないでよいか。これまで支払われた額が「道路用地の取得にとって不可欠」な額であったとのこと判断か
- 再調達原価採用の理由として、取得価額のデータがないことを多くの委員が挙げておられるが、付随費用とする補償費については、支払われた額を計上すべきとしている。これは補償費についてのみ、取得価額のデータが存在するためか

㊦ 建設中金利の資産額への算入について

- 「投下資本の回収という面を重視して」「建設中の金利は～稼働後の受益者たる将来の利用者が負担する～ことが、世代間の公平にかなう」との観点から、建設中金利の資産額への算入を支持される委員の方が多いが、これは建設費の負担の先送りになる可能性があるのではないか
- 建設中金利や補償費などを資産額に計上し、将来収益へとチャージする考えは、全ての債務を返済しなければならないという償還主義を前提としたものか。各路線の料金設定と、費用と収益を対応させるために各路線の建設にかかった金利を資産計上するか否かは、別の問題だと考えられるのではないか
- 建設中金利などを資産額へ算入した場合には、世代間負担の公平になるというご意見がある。しかし、各期劣化する資産に対して再投資を行う場合、建設中金利などを費用処理したとしても、世代間負担の不公平にはならないとも考えられる。道路は劣化しないとの前提でのお考えか